

(公社) 大分県建築士会 日田支部会報

発行：公益社団法人 大分県建築士会 日田支部
企画編集：広報部
文責：広報部長 秋 和夫

第12号 (平成30年 3月14日発刊)

■ 研修会の報告 ■■■

第22回住宅セミナーの報告

「あなたの家を緑でつつみませんか？」

(公社)大分県建築士会日田支部 広報部長 秋 和夫

平成29年11月18日(土曜日)午後2時より、公益社団法人大分県建築士会日田支部主催の住宅セミナー講習会が、日田市複合文化施設アオーゼ(旧文化センター)2階会議室に於いて67名の参加で行われました。

スケジュールは次のとおり

13:30 開場・受付

14:00 開会(主催者挨拶)

14:10 講演

●お金のかからない自分でできる庭づくり

講師 川津 潔

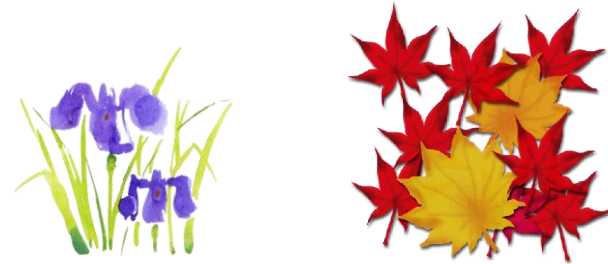
(株式会社大山 代表取締役)

16:00 住宅なんでも相談

16:10 閉会

17:00 現場見学会

今回の住宅セミナーは、「あなたの家を緑で包みませんか？」～お金のかからない自分でできる庭づくり～と題して行われました。



講師は、株式会社大山代表取締役 川津 潔 氏によるもので、草むしり時期や植物の習性による自然再生や緑の環境づくりに対する取り組みを紹介して頂きました。特に太陰暦による庭の管理については、参加者より多くの質問が飛び、深く感嘆していました。

写真は、講習会の様子です。



講演する川津 潔 氏



鈴木支部長・武内・羽野部長による進行



講演参加者の様子

庭づくりのポイントとしては

1. 敷地全体のゾーニングを家族で綿密に行なう。
2. 庭の施設(アプローチ・カーポート・門廻り)の優先順位を決める。
3. 家族でできる施設と出来ない施設に選別する。
4. 優先順位の高いものから施設の設置を行なう。
5. 完成した施設を使用し、当初計画の優先順位に基づき施設の増設を行なう。

という、まとめでした。

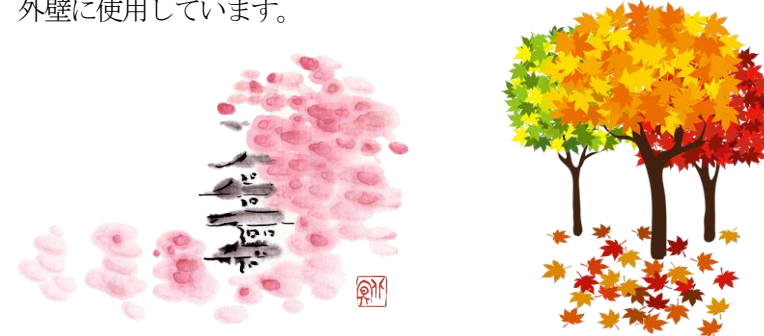
講演終了後は、希望者のみによる現場見学会を行いました。今回は、株式会社渡辺工務店のご厚意により、施工中の2現場を準備させて頂きました。壁や天井の表面に特殊セラミック加工を行い、遠赤外線(光エネルギー)を利用して共振共鳴させることにより快適な環境をキープする光冷暖システムを採用しています。光冷暖システムでは、家の中のどの部分の温度もほぼムラ無く、遠赤外線の作用で身体の体感温度を操作するため、健康的に過ごせることが最大の特徴だそうです。

■南元町会場

専用住宅：木造2階建て(延床面積388 m²)

設計監理：有限会社宇野建築設計事務所

人や環境にやさしい自然素材にこだわった新聞紙をリサイクルしたセルロースファイバーのデコスドライ工法の断熱材を外壁に使用しています。



■藤山町会場

専用住宅：木造平屋建て(延床面積141 m²)

設計監理：タカセ設計企画

高齢で身体が不自由な施主様に配慮して、玄関から室内まで車いす対応のバリアフリー設計となっております。ほぼ完成しており、もうすぐ引渡し出来るそうです。光冷暖システムの体験と説明を受ける事が出来ました。



建物の外観



光冷暖システムの説明を受ける見学者

「家庭教育推進キャラバン」 in 日田
『親子わくわくフェスタ』 青年部 佐藤幸司

平成 29 年 11 月 18 日（土）午後 1 時より、パトリア日田ギャラリーで大分県・日田市主催のふれあい講座「折り紙建築の世界」に公益社団法人大分県建築士会日田支部から 3 名が講師として参加しました。



《スケジュール》
13：00 開会あいさつ・折り紙建築の注意事項
13：20 折り紙建築スタート
14：50 閉会あいさつ

この事業は「明日から、親子で一緒に取り組めることを経験、体験することで、家庭での共通の話題づくりを提案。また、日頃からちょっと気になる話題について、学区の枠を超えた保護者の交流の場を創出する。」を目的でおこなわれており、「折り紙建築の世界」を通して親子で一緒にカッターを使って、折り紙を折って、建物をつくる体験と会話を大切に行いました。



日田市内の親子 26 人（子ども 14 人・大人 12 人）の参加のもと折り紙建築を行う前に注意事項として、櫻木青年部長からカッターの使い方と山折り・谷折りの説明を行い、各講師が 6 テーブルに配置し指導・サポートを行いました。



基本親子の会話を重視したいので、指導・サポートは抑えつつも、危険があるときや、悩んでいる時のサポートに徹しました。低学年の子どもには多少難しいようでしたが、中学年から高学年の児童はどんどん課題をこなし、超難関の平等院にアタックする姿も見えました。また、親や祖父母も折り紙建築の魅力に嵌ったようで、子ども以上に楽しんでいる姿が印象的でした。

今回の折り紙建築を通して、子どもから大人まで建築の世界に少しでも興味を持っていただき、将来の建築家を目指していただけたら幸いです。



第 9 回 木と暮らしのフェアへ参加の報告
日田支部長 鈴木孝幸

平成 30 年 2 月 4 日の午前 10 時から午後 4 時まで、パトリア日田に於いて、「日田地域林業・木材産業活性化協議会」主催の『第 9 回 木と暮らしのフェア』に参加致しました。平成 29 年度公益事業の一環として、日田支部は木に関わる事業の業種として毎回参加しています。今年の開催当日は、ものすごく寒い日だったので、来場者の減少を心配していましたが、思いのほか多くの方々に来ていただきました。建築士会のブースは折り紙建築、端材プレゼント、建築相談を行いました。



＜会場の様子＞

折り紙建築は、毎年夏休みに小学校高学年対象に開催しており、今回の参加者は、子供はもちろんですが、保護者の参加がありました。保護者は割りと難しい折り紙作品に挑戦して、中には子供が作成していた作品を途中から見かねた保護者が替わって悪戦苦闘している姿も多数見られました。折り紙建築は、好評で準備していた材料が足りなくなってしまう、途中終了となり、申し訳なく思っております。



＜折り紙建築ブースの様子＞

端材プレゼントの方は、少し出足が悪かったのですが、来場者が増えるにつれて丸太の輪切り以外はあっという間になりました。特に桧縁甲板、杉板、桧間柱は人気がありました。



建築相談自体は 1 組だけでしたが、内容については真剣に相談されていました。また、顔の見える家推進協議会のブースでは士会の協賛による「日田杉の禅部屋」と「日田杉の勉強部屋」の実物が展示されており人気でした。

最後に、今回のフェア開催に協力していただいた会員の方に深く感謝申し上げます。

第40回親善ボウリング大会の報告

(公社)大分県建築士会日田支部 秋 和夫

平成29年2月23日(金曜日)の午後6時30分より、今年で第40回親善ボウリング大会が、(社)大分県建築士会日田支部会と賛助会の協賛により、総勢56名14チームで日田市内のアストロボウルで盛大に開催されました。

大会の開催に先立ち、鈴木支部長が挨拶を行い、吉田事業部長がルール説明を行いました。日頃は厳しい顔で、仕事に向かい合う仲ですが、この時ばかりは、お互いのスコアを見て拍手したり、励ましあったりして、終始、笑顔の時間を過ごしました。



写真は大会の様子です。



ボウリング大会は、今年で40回目をかぞえ、日田支部の一年を通じての活動の中でも最大の行事であり、支部会員と賛助会員相互の親睦を一層深めることが出来ました。

皆さん、お疲れ様でした。



大会結果は、以下のとおり

- 団体優勝 → 九電工チーム
- 団体準優勝→ 宇野建築設計事務所チーム
- 団体3位 → 藤原設計チーム

- 個人優勝 → 左官組合 塩井氏(323点)
- 個人準優勝→ 榊川浪組 吉田氏(323点)
- 個人3位 → 榊マサキ 諫本氏(310点)

《あとがき》

支部会報は、公益社団法人大分県建築士会ホームページの中で、支部紹介の日田支部ページにも掲載されています。日田支部ページには、連絡事項やこれまでの活動報告など、情報が満載ですので、ぜひ、見て下さいね。(広報部長 秋より)

※日田支部のHPはこちら📄

<http://www.oita-shikai.or.jp/shibu/hita/>